

令和3年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）				担当課係	図書館
事務事業名	生涯学習センター市立図書館運営事業			事業予算費目	
総合計画上の位置付け	政策	② ひとりひとりが輝けるまちづくり		款	10 教育費
	基本目標	6. 心豊かなひとづくり		項	5 社会教育費
	施策	6-1 教育の充実と文化の振興		目	5 生涯学習センター費
	基本方針	6-1-3 生涯学習・スポーツの推進		事業	3 図書館運営事業

■事務事業の概要（PLAN）			
事業の目的	生涯学習や地域の情報の拠点として、役割を果たしていけるよう取り組む。また、図書館システムを活用し利用者の利便性及び職員の事務効率化を図る。	事業の内容	利用者の要望に応じた図書資料を集めるとともに、安全で快適な図書館となるよう環境整備などを行う。また、図書資料の貸出返却処理・データ収集及び統計処理等、幅広く図書館システムを活用する。

■事務事業の業績・推移（DO）								
成果指標	指標名		単位	実績		目標	目標	
	貸出利用者数			R2	R3	R4	R5	
	指標の説明		目標	20,000	20,000	20,000	20,000	
		実績	18,708	20,874				
		R2年度決算	R3年度決算	R4年度予算	市民一人あたりのコスト			
関連事業費	事業費		9,767,648	11,931,244	4,874,000	R2	262	
	財源内訳	国県支出金				R3	325	
		地方債				各年度4月1日現在の人口		
		利用者負担・その他				R2	37,243	
		一般財源	9,767,648	11,931,244	4,874,000	R3	36,670	

■評価（CHECK）							
事業の方向性	○	拡 充		縮小して継続	判定理由	多くの市民が図書館内での閲覧や図書の貸出・文化的活動等を通して図書館運営事業を利用する中で、図書館システムの活用を図っている。安全・安心・快適な環境となるよう、また蔵書の充実や文化の発信などにもいっそう取り組んでいく。	
		改善・効率化し継続		休止・廃止			
		現状のまま継続		完了			

■改善・効率化の方向性（ACTION）	
今後の課題	特色ある図書館づくりを継続していくためには、図書資料の充実が必要不可欠である。また、近々開始予定の徳島市立図書館等との広域相互利用にあたり、図書館システムの操作・活用を円滑に行えるようにする。
今後の方向性	時代の変化にも対応出来るよう新しい図書館づくりを研究し取り組んでいく。また、デジタル化の加速に伴い、図書館システムのセキュリティ強化をし、有効で安全なシステムとなるよう取り組んでいく。